2010.9月号
vol.91

もくじ

国重要文化財に指定されている、乙宝寺の三重塔（胎内市乙）

NOSAIの損害評価

損害評価は、被害申告から始まります

　収穫の秋を迎え、ＮＯＳＡＩでは水稲共済の損害評価が始まりました。組合では一筆方式と品質方式の引受があり、損害評価方法が異なりますが、加入者からの被害申告がなければ損害評価が出来ないという点では同じです。
　被害の発生で共済事故に該当すると思われたら、稲を刈取る前に被害申告をしてください。

～一筆・品質方式　補償内容の違い～

現在ＮＯＳＡＩ下越で引受している水稲共済は、「一筆方式」「品質方式」の２つの方式です。

一筆方式

　一筆方式は加入者の全作付耕地を引受しますが、その名のとおり水田一筆ごとの被害による収穫量の減収を補償する方式です。

品質方式

　品質方式は加入者の全作付耕地を引受し、水田一筆ごとではなく、生産者単位で収穫量の減収及び品質の低下による損失を補償する方式です。

※　下記の表は、方式ごとの補償等の違いを簡単にまとめたものです。

方式	引受と補償	補償	共済金の支払開始割合
一筆方式	引受 ・水稲全ての耕作地を引受けます 補償 ・水田一筆ごとの収量補償となります ・一筆ごとの被害に対して損害評価をします	７割補償	２割を超える減収から 　共済事故による収穫量の減収が、基準収穫量の２割を超えると共済金の支払い対象となります
品質方式	引受 ・水稲全ての耕作地を引受けします 補償 ・生産者単位の収量及び品質低下を補償します ・全耕地の見回りと、出荷伝票等で損害評価をします	９割補償	１割を超える損失から 　共済事故による収穫量の減収及び品質低下による損失が１割を超えると共済金の支払い対象となります

〜被害申告〜

風水害や病虫害の被害で、共済金支払いの対象となるものを**「共済事故」**といいます。この共済事故によって減収が見込まれる場合に、**被害申告**をしていただきます。

被害申告で注意しなければならないのは、水田に稲がある状態で損害評価を行いますので、必ず**稲の刈取り前までに**、被害申告してもらわなければならない事です。

水田に稲が無くなった後の被害申告や、被害申告がなされなかった場合には損害評価が出来ませんので、実際に被害に遭われていても共済金を支払うことが出来ません。

☆注意

被害申告の際は、「平成22年産水稲損害評価のお知らせ」を参考に、申告期限、評価日に注意してください。

申告野帳と立札（一筆方式の場合）

・損害評価野帳（この野帳で申告してください）

様式例第２１号　損害評価野帳〔一筆方式(一般)７割補償〕

No.　（通し番号）

共済目的	類区分	大地区名	小地区名	評価月日	評価者印
		加治川地区	住田		

組合員コード	耕作者氏名	評価地区	階層名
	共済太郎		

耕地の地名地番	住田 1234			災害の種類	災害発生月日
耕地番号	5	悉皆調査単収	* kg	いもち病	8月13日
分筆番号	1	判定	* 一般災害・皆無・不能等		
引受面積	29.9 アール	肥培管理	* 良・中・不良		
種類別	うるち・もち・小麦・六条大麦	分割割合	* %	*	*
品種名	コシヒカリ	分割事由	*	*	*
基準単収	kg			*	*

取扱注意　（注）＊欄は評価員が記入する。
（1）被害農家は太枠内の欄に記入し切取線から切り離し、損害通知書（損害評価野帳）をNOSAI部長等に届けてください。
被害表示の立札は、評価前日に被害耕地によく見える様に立ててください。
（2）「災害の種類」は、冠水、流失、冷害、干害等と具体的に書いてください。
（3）この損害通知書(損害評価野帳)を出された耕地は、農業共済組合又は農業共済組合連合会が実測調査を実施することがありますので了承ください。

9月21日刈取予定

刈取り予定日を記入してください。

・立札（圃場に立ててください）

被害表示の立札

No.

地区名	住田		
耕作者氏名	共済太郎		
耕地の地名地番	住田 1234		
耕地番号	5	分筆番号	1
引受面積	29.9 アール		
種類別	うるち・もち・小麦・六条大麦		
品種名	コシヒカリ		

農家が記入して被害耕地に立ててください。

農道側のわかりやすいところへ、立ててください。

・記入はボールペンで、水稲共済細目書を参考にしてください。

・共済事故「風水害・干害・雹・冷害・雷・地震・地すべり・その他気象上の原因による災害・病虫害・鳥害・火災」

※　責任期間外や共済事故以外の損害、倒伏、根腐れ、薬害等は共済事故ではありません。

〜損害評価〜

評価班

被害申告を受けた後、組合では損害評価会委員、損害評価員により、損害評価を実施します。

評価にあたって、水田面積等を考慮して評価地区や評価班を設定し、損害評価を行います。なお、大被害の場合などには、臨時に班を再編成する事もあります。

【一筆方式】

現地評価

被害申告圃場へ行き、災害の確認や検見、稲を刈取る**実測調査**を行います。

実測調査は、圃場の大きさにより60株から120株の稲を刈取り、収量を算出する基礎とします。原則、被害申告があった全ての圃場で、実測調査を行います。

乾燥調整

刈取ってきた稲は、脱穀し乾燥した後、籾摺りし篩い目選別して玄米重を出します。（篩い目は1・8ミリです）

この玄米重と刈取の栽植密度から換算し、単位当り（10アール）の収量を算出します。

【品質方式】

現地評価

被害申告をした生産者の耕作圃場の全てを見回り調査します。

見回りでは、災害の発生有無や被害の種類などを確認します。

出荷伝票等調査

評価員と職員で、JA等の集出荷業者へ行って、検査結果をもとに、品種ごとの収量、品位を調査します。

損害評価の流れ

被害申告

一筆方式

立札設置
損害評価日の前日までに設置。

現地評価
評価会委員及び評価員と職員で、検見調査、実測調査を行う。

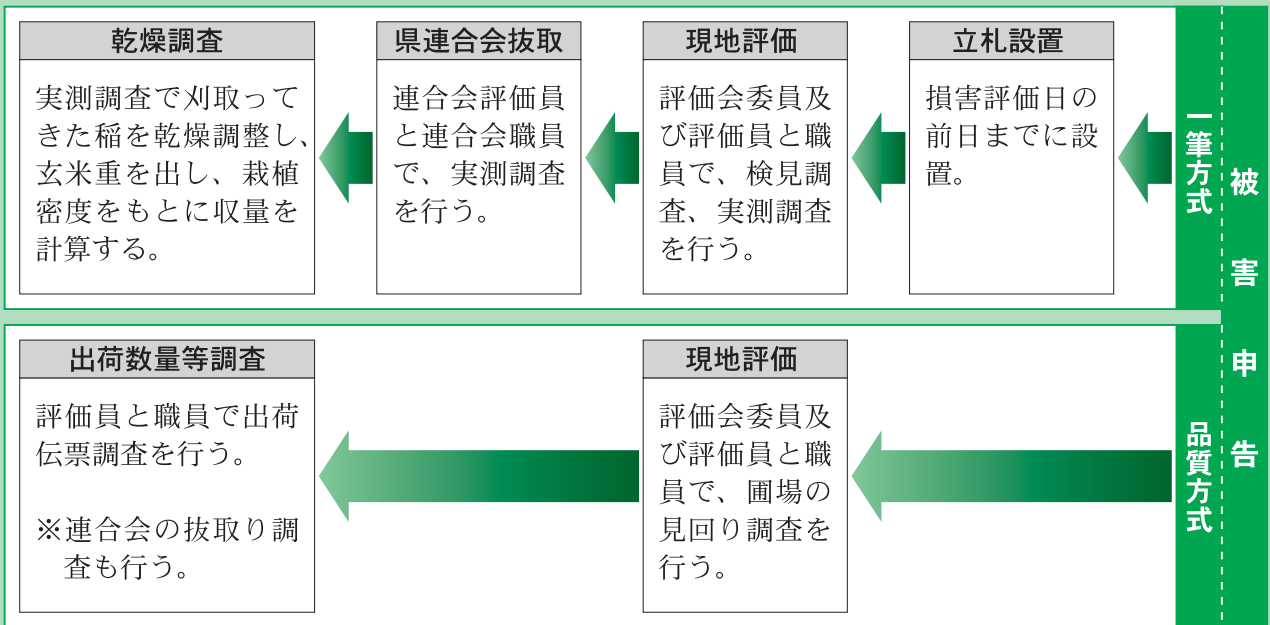
県連合会抜取
連合会評価員と連合会職員で、実測調査を行う。

乾燥調査
実測調査で刈取ってきた稲を乾燥調整し、玄米重を出し、栽植密度をもとに収量を計算する。

品質方式

現地評価
評価会委員及び評価員と職員で、圃場の見回り調査を行う。

出荷数量等調査
評価員と職員で出荷伝票調査を行う。

※連合会の抜取り調査も行う。

～共済金の算出～

【一筆方式】

乾燥調整した玄米重から収量を算出し、一筆ごとに設けられている基準収穫量の２割を超える減収の場合、共済金の支払い対象となります。

なお、引受されている**補償割合は７割**（基準収穫量の３割は補償外）で、**共済金支払いは２割えお超える減収から**（基準収穫量の２割は補償外）と、補償割合と支払割合に差があります。

そこで共済金の算出には、基準収穫量と減収量に応じた**損害割合**から**支払割合**が導かれ、共済金が算出されます。

【品質方式】

品位を加味した平均的な生産金額をもとに基準生産金額を算出し、その９割を引受し補償します。

見回り調査及び伝票調査の結果、算出される生産金額が基準生産金額の減少が**１割を超える**場合、共済金の支払対象となります。

品質方式の損害評価は、災害状況の確認するため行う現地の見回り調査、出荷伝票による品質や収穫量を把握します。

※　品質方式に加入するためには、収穫した米をおおむね全量ＪＡ等に出荷しており、出荷成績により品質や出荷量が確認できる事が条件となります。

人工衛星を使った損害評価を試験中

ＮＯＳＡＩ団体では現在、人工衛星を使った損害評価の試験を行っています。宮城県など、早いところでは数年前から試験をしております。

早期実現に向け取り組んでいますが、地図情報システムの構築や、実収穫量との収量差縮小のためのデータ蓄積など、解決しなければならない事があります。

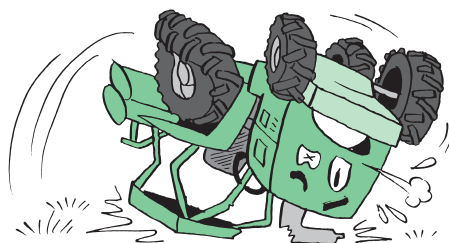
このため、人工衛星を使った損害評価の実施は、もう少し先の事になるとは思います。

安全農作業
～農機具の農作業事故に注意～

稲の収穫時期を向かえ、コンバイン等の農機具を使った農作業が多くなります。農機具を使った作業では、死亡などの事故が毎年発生しています。

そこで、農作業の事故防止のため、想定される事故と対策についてまとめましたので、参考にしてください。

※ＮＯＳＡＩの農機具共済は、農機具の損害を補償する共済ですので、人身や対物は補償の対象となりません。

なお、農機具が事故により損害を受けた場合は、すぐにＮＯＳＡＩへご連絡ください。

農作業事故防止、想定される事故内容と対策

（新潟県農林水産部資料を参考に作成）

作業等	場　所	想定される事故内容※	対　　　策
機械の整備及び点検	格納庫等	・機械への挟まれ、巻き込まれ ・工具による負傷	○取扱説明書による、適正なメンテナンス又は業者等への整備依頼 ・取扱説明書はよく読み、分かるところへ保管 ・ジャッキアップ等の安定した機械の設置 ・点検作業は、スイッチを入れずに行う
始業前点検	自宅等	・余裕のない無理な作業開始	○健康、服装及び保護具等、危険作業・箇所の点検と確認 ・日々の健康管理、適度な休息 ・作業の段取り打合せをしっかり行う
移動	一般道及び農道	・道路走行中、後方車両の追突及び崖からの転落等 ・路肩からの転倒及び機械の下敷き ・トラック荷台からの転落	○交通ルールの遵守（荷台に人を乗せない等） ・道路走行できない機械はトラック等で運搬 ・ヘルメット等の保護具の着用 ・低速車マークや反射材等で、目立ちやすい工夫 ・安全フレームの装着、シートベルトの着用 ・草刈による路肩の整備や農道の軟弱箇所等の補強
圃場への出入	圃場出入口及び畦畔	・転落、転倒及び機械の下敷き	○出入口の安全確認 ・段差が大きい場合や不安定な箇所では歩み板を設置 ・畦畔を乗り越える場合は、畦畔に対して車体を直角となるようにして行う
作業	圃場内	・機械への挟まれ、巻き込まれ ・機械からの転落 ・子どもの転落、巻き込まれ、挟まれ ・障害物との衝突	○適正な機械操作の実施 ・詰まり除去等を行う場合には、必ずエンジンを停止させ、機械の作業部が停止しているかを確認 ・日常点検。作業開始前点検をしっかりと行う ・機械に巻き込まれない服装、保護具の着用 ・機械の急発進、急停止は行わない ・周囲が見えにくい場所では、誘導者を置いて誘導してもらう ・機械に子どもを乗せない ・ゆとりある作業と、適度な休息 ・作業所の整理整頓
	作業所内	・稼動中の乾燥機等への接触による事故 ・２階からの転落 ・資材等の落下による下敷き	
その他		・事故後の発見の遅れ	・家族等へ行き先を知らせておく ・緊急時の連絡体制の確認

※　想定される事故内容は、これまでの事故発生事例から引用

さんぽの時間 ～第15回～ 中条地区

中条地区

村松浜海水浴場の風景（紫雲寺方面をのぞむ）

今回の「さんぽの時間」は、中条地区を訪ねました。

村松浜海水浴場

いつもより早い梅雨明けで、とても暑い夏になりました。夏は海へ行ってみたいと、村松浜海水浴場を訪ねました。

細かい砂の、白い砂浜が真直ぐ伸びている海岸線。海は遮るものがなく、水平線が弧を描いていて「海は広いな大きいな…」と、童謡を思い出しました。

ブイに囲まれた遊泳区には、浮き輪にのった子どもたちが楽しそうに泳いでいました。平日のためか、浜も海も混んでいなかったので、のびのびと楽しんで泳いでいました。

波打ち際では、海水浴客が楽しんでいました

ひとかご山

「昔々、三郎という若者が気に入った形のよい山を見つけました。殿様に願いでると、夜明けまでに家に持ち帰ることで許されました。三郎はさっそく大きな籠を持って行き、山を籠に入れて家に向かいました。ところが、塩津まで来たところで夜が明けてしまい、仕方なく山を下ろしてしまいました。」

このお話は、塩津付近の小さな山（古墳だそうです）、ひとかご山の昔ばなしです。丸い形の小山が、高速道路からもはっきりと見ることが出来ます。

日本海側最北の円墳との事です

乙宝寺（おっぽうじ）

乙宝寺は天平8年（736年）、聖武天皇の勅願で開山され、弘法大師が立ち寄ったと伝えられる県内屈指の古刹です。次のお話は、今昔物語に載っていて、乙宝寺が舞台とされています。

「一人の僧が、法華経を読誦して過ごしていました。いつからか、夫婦の猿が木の上で毎日聞くようになりました。僧は不思議に思い猿に「読誦したいのか」と問うと、猿は首を横にしました。「写経が欲しいのか」と問うと、嬉しそうに首を縦にしました。数日後、猿は木の皮を集めてきました。僧は木の皮に写経を始め、猿は栗や柿などを持ってくるようになりました。ところが、写経が五巻目に入ると猿は来なくなってしまいました。探しに行くと、山芋を掘った穴で息絶えていました。僧は悲しみ供養しました。

40年後、越後国司に赴任した藤原子高臣が夫婦で寺に来て問いました。「この寺には、写し途中の写経がございますか」と。あの時の老いた僧が進み出て、かくかくしかじかと答えると、国司は喜び「私たちはあの時の猿にございます。経をすべて写し終えんがため、人に生まれ変ってきました。どうか写経を書き終えていただけませんか」と懇願しました。願いを受けた老僧は、かつての写経を取り出すと一心に写し終えました。国司も三千部の写経をし、その写経とともに供養いたしました。」

（取材者：奥山遠志
取材者：北林幸子
取材者：小池　徹）

石灯篭に挟まれるように仁王門の屋根が見えます

乙宝寺の本堂、金剛界大日如来様が本尊の大日堂

お見せします！ 趣味・特技

村上市（神林地区）葛篭山　矢田（やだ） 隆（たかし）さん（52）

【ラジコン飛行機】

矢田さんは、ラジコン飛行機を趣味にしています。

昔から、矢田さんは車のラジコンや模型などが好きで、13年前にラジコン飛行機を始めました。

「子供に手が掛からなくなり、自分の時間が取れるようになったので、前から興味のあったラジコン飛行機を始めました」

矢田さんは、現在「神林ラジコンクラブ」に所属しています。メンバーは、30代後半から60歳までの15人です。

「始めたころ地元で飛ばしている方がいるとは思わず、荒川河川敷に来たら、偶然にクラブの方がいて、声を掛けてもらったのがきっかけで入会しました」

最初、思うように飛ばすことが出来ず、色々と細かい調整を教えてもらい、きちんと飛んだときには、ラジコン飛行機は奥が深いものだと感じたそうです。そのため、自分の思いどおりに飛ばした時の達成感がたまらないと言います。

「今後もラジコン飛行機を飛ばすだけのクラブではなく、仲間の交流の場、自分のストレス解消の場として楽しみたい」と矢田さん。

今まで作ったラジコンは、飛行機10機・ヘリコプター8機だそうです。

「私の趣味はラジコンしかないから、これが無くなったらあと、仕事しかなくなりますね」と冗談交じりに矢田さんは、話してくれました。

ラジコン飛行機、ヘリコプターと矢田さん

NOSAI情報局

すずらん会
総会、研修会を開催しました

総会

7月10日、胎内市のロイヤル胎内パークホテルで、NOSAI下越女性組織「すずらん会」の平成22年度総会を開催しました。佐藤組合長を来賓に迎え、会員21名の参加で事業計画や予算などを審議し、決定承認されました。

今年は役員改選の年で、総会により新たな役員が決まりました。紹介いたします。

会長
斎藤チウ　村上市
副会長
石井時江　新発田市
小熊やよい　新潟市北区
運営委員
本間美江　新発田市
遠藤アツ子　新発田市
菅原さよ子　村上市
監事
齋藤チイ　新発田市
中村はるこ　村上市
任期
平成22年8月～24年7月

研修会

今年の研修会は、総会が終了した後、奥胎内ダム建設の見学でした。

通常、ダムの建設現場には立ち入ることが出来ませんが、新潟県新発田地域振興局地域整備部奥胎内分所へ見学申込みをし了承されると、工事現場を見学する事が出来ます。

一同は、ホテルから中型バスで現場に向かい、途中、胎内ヒュッテに寄ってヘルメットを借り、県の職員さんの案内で工事現場まで行きました。

奥胎内ダムの建設地点は磐梯朝日国立公園地域内にあり、貴重な動植物が生息しているため自然環境への影響を最小限となるよう、自然環境保全を図りながら建設しているので、完成までに時間がかかるとの事でした。

ダムの工事現場

説明してくれた職員さんとの記念写真

総務
加入内容確認の協力お願い

組合では適正な引受事務等を行うため、今年も各共済事業の掛金等を現金で納入していただいた方を対象として、納入いただいた翌月に書面による加入内容の確認をお願いしています。組合員の皆様にはお手数をおかけいたしますがご協力をお願いいたします。

また、新潟県及び新潟県農業共済組合連合会では、掛金の現金納入にかかわらず、加入内容の確認をお願いする場合があります。その際にも、ご協力くださいますようお願いいたします。

家畜共済
異動報告は、NOSAIと家畜改良センター一緒に報告！

導入や譲渡、出生などの異動が発生した場合、NOSAIへ必ず異動報告をしてください。

異動の報告漏れを防ぐために、**家畜改良センターへの報告と併せ、NOSAIへの報告をお願いします。**

適正に異動報告が行われずに共済事故となった場合は、共済金の一部または全額が免責となる事がありますのでご注意ください。

乳牛の残暑対策ポイント

乳牛にとって9月と10月は夏バテの影響が徐々に表に出てくる時期です。今年の夏は猛暑が続きましたので、以下のことに気をつけて管理してください。

①嗜好性の良い粗飼料を十分給与し、乾物摂取量が元に戻ってから濃厚飼料を少しずつ増やしてください。

②秋に分娩する牛は、産後起立不能症が発生しやすくなります。栄養補給と同時に分娩後3日間はカルシウムを投与し、万全な体調管理をしてください。

③まだまだ残暑が続きますので、換気扇、扇風機等を継続使用し、牛舎の気温を下げ、食欲低下を防ぎましょう。

果樹・園芸施設共済
台風に備える

9月以降の台風は日本に接近、上陸しやすいので、台風に備えるポイントをご紹介いたします。

果樹

・強風に備え、防風網や果樹棚支柱の点検・補修をしてください。

・倒伏しやすい樹体には、支柱による補強をしてください。

・収穫可能な果実は収穫してください。その際、農薬使用基準に注意が必要です。

園芸施設

・施設周辺の清掃等により飛来物による損傷を防ぐ。また、フイルムの取付金具の点検や抑えひもの固定等、暴風対策を講じてください。

その他

・事故防止の観点から、台風の接近及び通過後の見回り等は、気象情報を確認し、大雨強風が治まってから行いましょう。

※台風よる被害が発生しましたら、NOSAIまで速やかにご連絡ください。

～農業の合間、演芸会などを楽しむ～

アルバム拝見
私のハタチのころ
連載73

メリヤス工場でのお友達と（右端が加藤さん）

加藤清江（かとう きよえ）さん（68）
阿賀野市沢田（さわだ）（安田地区）
（昭和17年生まれ）

経営内容	
水田	4ヘクタール
畑	10アール

手作業の農業を手伝う

　実家が五泉市の畑作主体の農家だったので、私も中学校を卒業すると農業の手伝いを始めました。そのころは農機具もなく、すべてが手作業で、重労働でしたね。中でも、固く締まった土をクワで起こす春の一番打ちは、本当に大変だったことを思い出します。

　採れた野菜は、近隣の市場に売りに行きました。野菜を積んだリヤカーを母が引っ張り、後ろから私が押して、五泉や村松まで1、2時間かけて歩いたものです。新津や津川へも、背中に担いで汽車で行きました。

　集落の大半が同じような生業でしたので、特別大変だとは思っていませんでしたが、昔と比べると、今は本当に楽になったと思います。

少ない楽しみを大いに楽しむ

　当時1番の楽しみは、月に1度映画を見に行くことでした。小遣いを200円もらって、五泉の映画館に通ったものです。石原裕次郎や大川橋蔵が大人気で、裕次郎ファンだった私は、友達と映画の話でよく盛り上がっていましたね。70円の入場料で半日映画を楽しんだ後、45円のラーメンを食べて帰るのが何よりの楽しみでした。

　もうひとつの楽しみは、年に1度の青年団の演芸会。佐渡おけさや相川音頭、三橋美智也などのレコードに合わせ、先輩に踊りを教わりました。集会場などありませんでしたので、会場は誰かの家の座敷です。娯楽が少なかったこともあり、演芸会は集落全体の楽しみでしたよ。

　家の農業を手伝って3年ほどたったころ、そろそろ嫁入り道具を準備しようと、メリヤス工場へ勤めに出ました。おしゃれをして会社へ通うのが新鮮でしたし、従業員も同年代の人が大勢で楽しかったですね。社員旅行のほかにグループで旅行に行ったり、登山をしたりと、本当に良い思い出です。

結婚、そして今の楽しみ

　嫁いで来たのは22歳の時で、水田主体の農家でした。面積が実家の4倍もあり、戸惑いも多かったことを覚えています。特に大変だったのは、田植えの苗取りです。朝ごはん前に一日分の苗を準備しなくてはならず、午前三時から四人がかりでやっと終わる大仕事でした。家の田植えが終わると、親戚の手伝いに回る。昔の農作業は人手が要りましたから、助け合うのが当たり前でしたね。

　7年前から、体のことを考え、踊りを始めました。「萌の会」という地元のグループに参加し、町のイベントに出場するほか、老人施設へのボランティアにも行っています。練習で汗を流すのも楽しいし、その成果を人前で披露するのも楽しい。老人施設へのボランティアでは、皆さん本当に喜んでくれて、またやる気が沸いてきます。これからも踊りを楽しみ、元気に農業を続けていきたいと思っています。

（取材者：内藤美和子）

青年団の演芸会で女船頭唄を披露
（左側が加藤さん）

のーさいえんす

NOSAI ENCE

農に関係したチョットの疑問をさぐるコーナー

今回のテーマは、「登熟（水稲）」です。

「トウジュクって何だろう?」

「何でしょう?」

登熟とは、米などが出穂してから実っていくことをいいます。

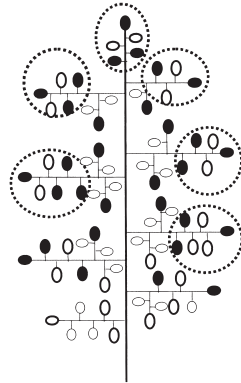
稲は、穂が出て開花受粉すると、籾の中では子房（玄米）が肥大し実っていきます（つまり登熟）。この登熟期間中の稲は、とても**水分を必要とします**ので、登熟後期まで水田を乾かさないように水管理が重要となります。特に今年は、猛暑続きで、イネ体活力の低下による玄米の充実不足が心配されますので、ご注意してください。

完全落水は出穂30日ころを守り、可能な限り田んぼに水を入れておきましょう。人が熱中症にならないよう、水分補給が大切なように、稲も登熟期間は土壌水分を保つことが大切です。

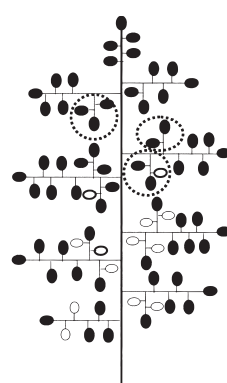
稲の刈取りは、穂の実り具合を見て、適期刈取りをしましょう。

へぇ〜

籾黄化の状況と刈り取り時期

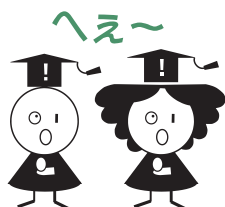
刈り取り適期７～10日前（籾黄化率50～70％）

図中の点線内の籾（上・中位１次枝梗籾）が黄化した時が刈り取り適期７～10日前

注：黄化の診断は１次枝梗が９本程度の平均的な穂について行う。調査本数は20穂程度必要である。16本以上が該当すれば７～10日前

刈り取り適期（籾黄化率85～90％）

図中の点線内（上位３～４本目の１次枝梗に着生する２次枝梗籾）が黄化した時が刈り取り適期

注：籾黄化の診断は１次枝梗が９本程度の平均的な穂について行う。調査本数は10穂程度必要である。8本以上が該当すれば刈り取り適期

●は黄化籾　◎は黄化直後籾　○は緑色籾

富山県

NOSAIクイズ

抽選で賞品をプレゼント!

～正解と当選者発表～

もえぎ７月号（Vol.90）に掲載されたＮＯＳＡＩクイズ「七不思議にまつわる鎌倉時代の僧侶は何番でしょうか」の正解は…

②親鸞聖人　でした。

厳正な抽選の結果、右記の10名の方に「洗剤セット」をお届けします。ご応募ありがとうございました。

当　選　者

渡辺　香代さん　新発田市（新発田地区）
徳永　照美さん　新発田市（豊浦地区）
安孫子　ユキエさん　新発田市（豊浦地区）
木村　富子さん　新発田市（加治川地区）
須貝　和子さん　新発田市（加治川地区）
兼田　良子さん　胎内市（中条地区）
井上　ミエ子さん　胎内市（中条地区）
板垣　振さん　村上市（山北地区）
菅原　辰雄さん　村上市（山北地区）
佐藤　七重さん　関川村

お詫び　９月号２頁の、第24回通常総代会の記事において、胎内市の丹呉秀博副市長のお名前が、丹後と間違っておりました。訂正しお詫び申し上げます。

はぎわら　えりこ
萩原 枝里子さん（24）
胎内市（黒川地区）

京都へ行きたい萩原さん

趣味は何ですか？
ピアノを弾くことです
最近はエレクトーンも始めました

好きな食べ物は？
オムライスです。フワフワたまごがたまりません

旅行に行くとしたら、どこへ？
京都です。和ものの雑貨を色々見に行きたいです

かま た
鎌田クルミちゃん
（2歳5カ月）
新潟市北区（豊栄地区）
鎌田 正和さん・和美さんの次女

ももこお姉ちゃん（4歳）と仲良くツーショット

好きな遊びは？
お外で遊ぶの大好き！海やプールの水遊びも大喜びです

好きな食べ物は？
枝豆、トマト、スイカ。ポテトチップスや柿の種にも目がありません

ご両親から一言
このまますくすくと、健康に育ってほしいです

お世話になりました

【退職】
平成22年8月31日付
前職・事業第一課主事

このたび8月末日を持ちまして、退職いたしました。多くの方から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

吉村綾子（旧姓・菊池）

今月の表紙

胎内市の乙にある乙宝寺。1,200年以上の歴史がある古いお寺です。
写真の三重塔は国の重要文化財に指定されており、それ以外にも、県の指定文化財などが多くあり、歴史と伝説が宿る名刹です。

もえぎ　編集・発行 下越農業共済組合　NOSAI下越　検索　【HPアドレス http://www.nosai-kts.or.jp】

本所	〒959-2415　新潟県新発田市住田544番地 Tel（0254）33-3901	Fax（0254）33-3293	休日連絡先（午前6時から午後6時まで）080-1070-9226
阿賀北NOSAIセンター	Tel（0250）63-9090	Fax（0250）63-8979	休日連絡先（午前6時から午後6時まで）080-1077-8025
岩船NOSAIセンター	Tel（0254）56-6133	Fax（0254）56-6202	休日連絡先（午前6時から午後6時まで）080-1074-3354

NOSAIは農業災害補償法に基づき、災害によって起こった損失を補償し、農業経営の安定化をはかることを目的にした団体です。

本誌は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
印刷／昭栄印刷㈱